

絶滅危惧種「ニッポンハナダカバチ」群生

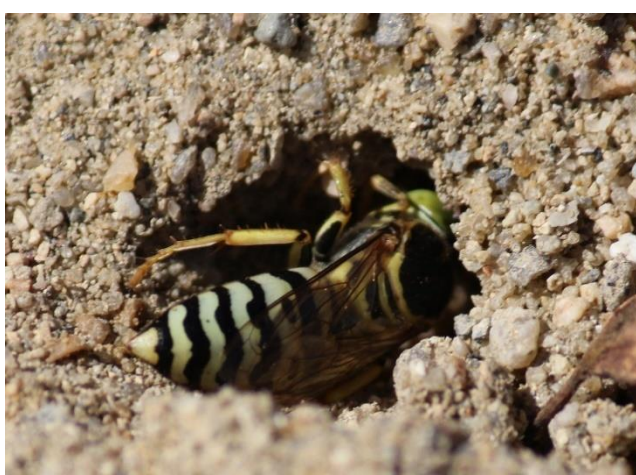
おおさきしょうがっこう には、まいとし、「ニッポンハナダカバチ」がやってきます。

メスはすなちほってすあなをつく、はえやあぶ、ときには同じニッポンハナダカバチのオスなどにどくばりますいすはこいさんらんふだんすあないぐち餌をとらえてもど戻ってくると、いぐちほかえすあなはいえきおごふたたいてぐちを閉じて狩りに出かけます

たいみずよすなじすあなせいそくちかぎこたいすうすく
平らで水はけの良い砂地でないと巣穴にできないため、生息地は限られ、個体数は少なく、
※絶滅危惧種となっています。

おおさきしょうすなばせいそくたいへんじょうけんよすあなほ
大崎小の砂場は、ニッポンハナダカバチが生息するには大変条件が良く、巣穴を掘るために群生しています。しかし、まいとしおなぼしよみかぎじょうけんからいねん
は毎年同じ場所で見られるとは限らず、条件が変わると来年はあらわせいそくてきかんきょうみ
は現れなくなるかもしれません。生息に適した環境を見つけるのは、ニッポンハナダカバチにとってかなりむずかしいことのようにです。

※環境省第4レッドリスト（2012）



がつまつ あたた みまも
7月末ごろまで、温かく見守ってあげてください。